

令和8年 3月 24日

令和7年度共同研究講座活動実績報告書

共同研究講座名：食と健康研究講座

所 属 長：福井 道明

1 共同研究講座の目的

日本糖尿病学会が掲げる糖尿病診療の目標、すなわち糖尿病がある人の人生の幸福度を高めることを達成するために、食品関連企業と共同研究し、抗サルコペニア・抗肥満・糖代謝改善効果を有する食品を研究・開発すること。

2 報告年度に係る取組状況

- ・PHGGを含有した「ファイバー牛丼」を用いたクロスオーバー試験を継続実施し、食後血糖変動への影響について検討した。
- ・ファイバー牛丼摂取により、従来牛丼と比較して食後血糖上昇の抑制傾向を再現性をもって確認した。
- ・インクレチン関連ホルモン（GIP、GLP-1等）およびグレリンの分泌動態についても解析を進め、内分泌応答の変化を評価した。
- ・血清メタボローム解析により、ファイバー牛丼摂取後にオルニチン、リジンなどのアミノ酸関連代謝物の変動を確認し、代謝経路への影響を検討した。
- ・症例数の追加登録を進め、統計的検出力の向上と結果の頑健性の検証を実施した。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

(1) 学会発表

- ・五十嵐友輔、牛込恵美、濱口真英、黒川眞行、辻智子、安部綾、佐藤則夫、福井道明

「ファイバー牛丼摂取の食後血糖変動に与える影響」

第61回日本糖尿病学会近畿地方会

(2) 研究の進展・成果

- ・クロスオーバー試験デザインにより介入効果の内的妥当性を担保

- ・メタボローム解析を組み合わせた統合的解析基盤の構築
- ・食品介入による内分泌・代謝・腸内環境への多面的影響の解明に向けた基盤データを取得

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。